

# 衆議院環境委員会ニュース

平成 27.5.19 第 189 回国会第 6 号

5 月 19 日（火）、第 6 回の委員会が開かれました。

## 1 水銀による環境の汚染の防止に関する法律案（内閣提出第 36 号）

### 大気汚染防止法の一部を改正する法律案（内閣提出第 37 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）早稲田大学法学部教授

野村興産株式会社代表取締役社長

大塚 直君

藤原 悌君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 笹川博義君（自民）

- ・水銀廃棄物の最終処分及び長期管理に対する技術的・制度的な側面からの国の関与の在り方について、藤原参考人の見解を伺いたい。
- ・水銀が身近なものであることによって国民の水銀への関心が低くなっている。そのため、水銀使用製品の回収に当たっては、国や地方自治体の負担が大きくなることが考えられるが、大塚参考人の見解を伺いたい。

### 中島克仁君（民主）

- ・拡大生産者責任の観点から、水銀使用製品を製造した企業の回収責任を明確にする必要があると考えるが、両参考人の見解を伺いたい。
- ・廃金属水銀の長期管理への国の関与の必要性について、両参考人の見解を伺いたい。

### 小沢鋭仁君（維新）

- ・水銀に関する水俣条約（以下「水俣条約」という。）について、その意義と水俣の名前を冠したことについて、両参考人の見解を伺いたい。
- ・水銀等の大気中への排出基準を「現実的に排出抑制が可能なレベル」で定めることとしていることの妥当性について、両参考人の見解を伺いたい。

### 浮島智子君（公明）

- ・水銀の大気への排出量を抑制する観点から、国民や事業者が製品を購入する際、水銀含有量の少ない製品等を購入できるよう表示することや、水銀を含む廃棄物の分別回収を促進することが重要だと考えるが、大塚参考人の見解を伺いたい。

- ・水銀等の輸出における事後報告の制度を導入する意義について、大塚参考人の見解を伺いたい。また、条約発効後、輸出される水銀等の最終用途等を把握し報告することが求められることとなるが、実効的な制度とするための方策について、藤原参考人の見解を伺いたい。

### 島津幸広君（共産）

- ・大気中への水銀排出量を削減するため、石炭火力発電を減らしていく必要があると考えるが、両参考人の見解を伺いたい。
- ・我が国は、水銀規制の取組が遅れており、もっと早く規制を行い世界に広げるべきであったと考えるが、両参考人の認識を伺いたい。

### 玉城デニー君（生活）

- ・水銀の一次採掘について、水俣条約では既存の鉱山は 15 年以内に禁止することを定めているが、15 年とした経緯、当該期間の妥当性について、大塚参考人に伺いたい。
- ・我が国の水銀代替技術や設備を活かし、世界の水銀対策において主導的に取り組む必要性について、両参考人の見解を伺いたい。